

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【内谷中】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<p><学習上の課題> 基礎的・基本的な知識・技能は高い水準で習得できている生徒が多い中、学習への取り組み方には課題を感じている生徒も一定数みられる。</p> <p><指導上の課題> 反復練習や個人的な振り返りをする時間を十分に確保できていない。</p>	⇒ ドリルパークやスタディサプリ等のデジタル教材を活用し、基本的な知識・技能の定着を図る。【学期ごとに1回実施】 中学校での既習単元や小学校での学習内容を配信することで、学習した内容を振り返る機会を設ける。【学期ごとに1回実施】
思考・判断・表現	<p><学習上の課題> 自らの考えを文章で表す能力に偏りがみられ、特に記述問題においては無回答になってしまう生徒が多い。</p> <p><指導上の課題> 生徒の成果に至る過程をデジタル教材などに記録し評価する機会を十分に確保できていない。</p>	⇒ 振り返りシートやスクールダッシュボード等で授業内容を振り返る際にルーブリック等の手段を使い、評価規準を明確に生徒に示し、生徒自身が活動の中で目標を意識できるような工夫をする。自分の考えたことを表現する機会を設けることで、思考力・判断力・表現力を高めていく。【単元ごとに1回実施】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	<p>国語・数学ともにすべての項目において正答率が全国・県平均を上回る結果となった。また、理科においては全国平均を上回る問題は8割程度となった。理科で平均を1.7ポイント下回ったのは、4種の生物のうち、呼吸を行う生物を選ぶ問題であった。正答率は4つすべてであったが、正しくすべての項目を選ぶことができた生徒は3割に満たなかった。</p> <p>また、生活調査では「数学/理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という質問事項で肯定的意見を回答した生徒が全国・県平均を下回っている。このことから、学んだ知識を実際の事象と結びつけて考えることが難しい、または、その方法がわからない生徒が多いのではと考える。</p>	
思考・判断・表現	<p>国語・数学・理科すべての教科において、9割程度の問題で、正答率が全国・県平均を上回る結果となった。平均を下回った問題はそれぞれ、国語では「自分の考えとどのように考えた理由を書く」、数学では「方法を説明する」、理科では「適切なものを判断し、選択する」問題であった。また、正答率が低い問題に対しては、無解答率が高くなる傾向が見られた。</p> <p>国語においては、全国・県平均とともに、知識・技能を思考・判断・表現の平均点が上回っていたが、本校では、逆の結果となった。このことから、得た知識を分析し、自分の言葉で表現することに対する苦手意識があるのではないかと考える。</p>	

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)
- ③分析共有(児童生徒の実態把握)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	B	1学期においては、ドリルパークやスタディサプリ等のデジタル教材による基本的な知識・技能の定着を目指す時間を、概ねどの教科も設定することができた。また既習内容の振り返りにおいては、授業内で時間の設定をすることは難しく、夏休み課題などにおいて実施している教科のみみられた。小学校の学習内容については、教科や個人によって偏りがみられた。	引き続きデジタル教材等を用いた自学自習の時間を確保するなどして、学習機会の設定をする。基本的な知識・技能の定着を目指す。【学期ごとに1回実施】 各教科の特性にあわせ、振り返りの機会を設けるとともに、教科横断的な視点から既習事項の振り返りをする場面の設定を目指す。【学期ごとに1回実施】
思考・判断・表現	B	振り返りシートなどを活用している教科もみられたが、時間の確保が難しい教科もあるため、単元ごとの実施は難しかった。1学期においては、スクールダッシュボードを活用し、全校で1学期の授業の振り返りを実施した。	引き続き振り返りシートやスクールダッシュボード等で振り返りを行う。実施が難しかった教科を中心に、教科会等を通して実施時期の検討をする。自己評価が実施可能な項目などを提案し、全校で1学期の授業の振り返りを実施した。【単元ごとに1回実施】

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)